

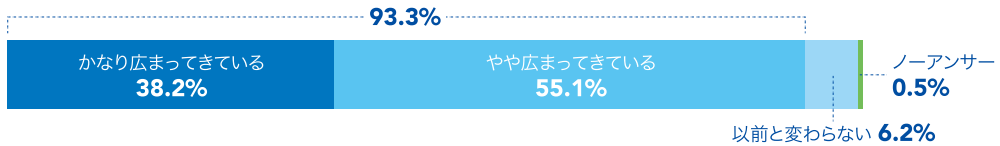
日本テトラパックのベルマーク運動への積極的な取り組み、ありがとうございます。

アンケートに回答いただいた786団体の大多数で、「環境やリサイクルへの関心が高まり」「アルミ付き紙容器がリサイクルできるという認識が広まり」「テトラパック社のマークの認知が広がり」ました。

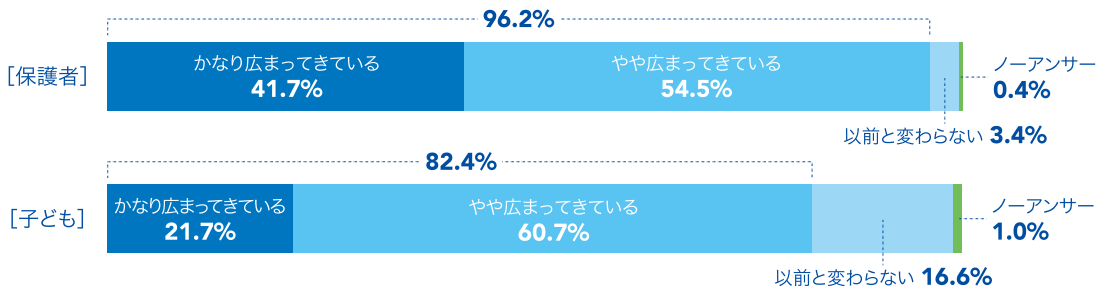
▶ PTAの集まりや保護者の間で、環境やリサイクルが話題になることが増えましたか。



▶ 保護者の間で、「開いて、洗って、乾かす」ことでアルミ付き紙容器がリサイクルできるという認識が広まってきていると思いますか。



▶ 保護者の間でテトラパック社の「マークA」の認知は、広まってきていると思いますか。子どもたちの間ではどうでしょうか。



さまざまな気付きや行動は大人だけでなく、子どものあいだにも広がっています。

(フリーコメントから抜粋)

自分達に出来る事で人の役に立ちたい、立てる、ということがわかり、自ら進んで広めている姿も見られました

テトラパックの紙容器以外のリサイクルにも興味を持つようになった

銘柄ではなく「テトラパックのマークがついたものを買ってー。」と言うようになった

アルミ付きの紙容器のほうが点数が高いのを知って、アルミ付きを集めようとしてくれる

食事が済んだ子から、はさみをだして、流し台(手洗い場)に行って、切り開いて洗って干すようになりました

4年生は、社会科の授業と関連してリサイクルを考える事ができた

環境問題を親子で話すきっかけになり言葉で説明するより、実践していることから学べるので理解しやすい

園児たちの給食の片付けの流れの中にリサイクルの一連の作業が自然と入っている

「自分にできることをやるう」という気持ちが子どもの心にも芽生え、日常の会話にも出るようになりました

資源の大切さ、リサイクルを考えていてねいに開くようになった

手間をかけることの大切さを学んだ

これから成長していく中で、テトラパックの紙容器を集めてリサイクルを行った経験は大きな意味をもたらすと思います

小さなボランティアに参加出来る喜びや捨てればゴミでも使えば大切な資源になるんだという事を一緒に考えるきっかけにつながった